



# 小さな声を形に！伊藤こうへい通信

## 令和2年度第三回定例会

### 障がい者の自立と社会参加について

～障がい者就労の課題～

千葉市を管轄する千葉労働局の報告では、昨年度のハローワークを通じた障がい者の就業件数は3,972件と、10年連続で過去最高を更新し、就職者の増に伴うその職域も広がってきているとも言われております。

一方で、企業側として、採用後の定着が進まないことや活躍の場の創出に苦慮しているなど、就業件数だけでは計れない課題もあるようです。

また、雇用者側の障がい者も、企業の処遇や評価に対する不満などから離職者も多く、企業側と雇用者とのギャップも課題としてあげられております。

平成28年度に千葉市では、千葉労働局と「雇用対策協定」が結ばれ、「身体状況等の違いに関わりなく尊重され、個性と能力とを發揮することができる働きやすい都市を実現する」と謳われておりますが、障がい者就労を担う保健福祉局と経済や労働などを担う経済部局との具体的な連携がなされていないことなど、障がい者就労における施策や雇用のミスマッチが課題としてあげられており、本市の現状と取り組みについて確認しました。

**Q1** 千葉市雇用対策協定にある、障がい者に対する就労支援がどのように進められてきたのか？

**A1** 本市が千葉県とともに運営参加している、「千葉県障がい者就業支援キャリアセンター」において、就労を希望する障がい者から相談に応じるとともに、障がいの特性に配慮した訓練、実習、就職活動、就労後のフォローなどの支援に取り組んでおります。

また、実際に企業とのマッチングを行う「雇用促進就職面接会」をハローワークなどと連携して開催しており、昨年度の実績は前年度を44件上回る686件となっております。

**Q2** 市内企業ニーズを調査し、企業の雇用方針と施策の整合性が取れているか確認し、マッチングすることが重要と考えるか？

**A2** 現状では、就職件数は把握しているものの、就職希望者や就職後の定着状況など、実態把握が十分とは言えず、施策に反映できておりません。

また、企業が何を求めているかを把握し、庁内で情報共有することで職業訓練などの支援内容が要望に沿ったものになっているか検証し、施策の修正を行うことが重要と考えています。

企業の求める人材や技能などのニーズを調査し、その結果を就労支援施策に反映していけるよう関係機関が連携して取り組んで参ります。

CHECK



障がい者就労の課題として、就業者数を延ばすことも大切ですが、雇用のミスマッチによる離職者を無くすことも重要です。

企業の雇用方針が法定雇用率を達成することが目的なのか、利益に貢献できる人材を求めているのか、「定着」と「活躍」とでは取るべき施策も異なりますので、企業が抱えている課題などを調査し、課題に寄り添いながらの施策展開が必要です。

縦割り施策であった障がい者の就労が、経済と福祉が一体となった施策を推進し、雇用の創出に繋げるよう強く求めます。

### 千葉市病院事業について

～海浜病院の今後の対応～

昭和59年に整備された海浜病院の老朽化対策は、喫緊の課題となっております。

この10年間で、給排水管や空調設備などの修繕や工事費用に約21億円もの金額が使われております。

これまで、病院施設の計画的な維持・修繕を図るとしていたものの、応急的な対応に追われ、施設維持のための具体的な対策が講じられずにいたことが、多額の修繕費用を要する結果となっております。

また、昨年のリニアック（放射線治療装置）治療の取り組みに対する会派の代表質問に対する答弁で、「リニアック稼働開始から5年間の実績が計画値の5割程度にとどまっていること。常勤の医師が不在であり、人材確保について計画性と実効性を持って取り組んでいきたいこと。」さらには、「リニアックの有効利用を図り、地域のがん診療の充実に貢献したい。」との答弁をいただいております。これら、海浜病院の取り組みについて伺いました。



リニアック

**Q1** 多額の修繕費用を投じる事となった、所管としての評価と新病院移転までの今後の修繕予定と追加予算についてお答えください。

**A1** 海浜病院の老朽化が進んでいる状況にありましたが、この間、経営状況の悪化などの要因を踏まえ、計画的な施設の維持を図る方針としてきました。しかしながら、給排水管の老朽化が深刻化するなど、不具合の応急的な対応に追われる事態になっているほか、これまで海浜病院の施設維持のため、多額の修繕費用を要する結果となってきたことについては真摯に受け止めております。新病院の開院時期は遅くとも令和7年度上半期を目指しており、この間、海浜病院の修繕に要する経費は、今年度当初予算で約1億円計上しており、今後も毎年同程度の予算額が必要になるものと見込んでおります。

**Q2** この1年間、リニアック治療に向けた病院局としての取り組みについてお聞かせください。

**A2** 平成30年9月末で不在となった常勤の放射線治療医の後任確保に向けて取り組んできましたが、未だ確保に至っておりません。

現在、千葉大学から週1回、放射線治療医の派遣により対応していますが、その影響は大きく、令和元年度の実績は、患者数125人、収益2,900万円で前年度に比べいずれも約10%の減であり、累計でも計画値の5割を下回る状況です。

稼働実績が当初の計画に比べ大きく下回り、これまでの投資額の回収が困難になっている状況は、一般会計からの繰り入れを受けている立場として、真摯にかつ重く受け止めております。

CHECK



海浜病院の老朽化対策について、新病院が完成するまでの間、なくてはならない施設であり修繕を進める必要はありますが、適切な維持管理を怠った結果の予算措置となることは重く受け止めるべきです。

海浜病院が位置する千葉市西側地域において、がん治療を実践できる総合病院はなく、がん患者にとって放射線治療は必要な医療であり、海浜病院の役割と放射線治療の重要性を深く認識し、常勤医師の確保に取り組まれるよう求めます。

